Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

人類に奉仕するロータリー

2016～2017 年度
国際ロータリーのテーマ

◆例会日/週火曜日　12:30～13:30　◆例会場/小諸市鶴巻　音羽
◆事務局/〒384-0025　長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
◆会　長　/　掛川　興太郎　　◆副　会　長　/　小池　平一郎
◆幹　事　/　矢島　栄一　　◆ｸﾗﾌﾞ広報･情報委員長　/　中河　邦忠

NO. 1364　平成29年5月9日

◆点鐘	掛川興太郎 会長
◆SAA	渡辺　頼雄　委員
◆ｿﾝｸﾞ	君が代･誕生日の歌
◆ｹﾞｽﾄ	渡辺　憲一　様　（野鳥の会）

◆誕生祝

小山　盛夫　会員･両川　栄　会員

◆結婚祝

両川　栄　会員　まさ子夫人
渡辺英世　会員　一美夫人

【会長挨拶】　掛川興太郎 会長

皆さん、こんにちは。5月になって、暑く感じられる日も増えました。連休中は、皆さんはどの様に過ごされましたか。

私は、7 日の日曜日、浅間の山開きに、来賓として、参加してまいりました。天狗温泉浅間山荘前では、大浅間火煙太鼓保存会の演奏も行われ、勇壮な音色が会場を盛り上げておりました。青空が広がる五月晴れに恵まれた山開きに合わせて記念登山を楽しもうと大勢の登山客が訪れ、登山届に記録し入山の手続きを行い、法螺貝の合図で安全祈願の火入れ式が行われ、登山道入り口手前に張られたしめ縄が切られると、集まった登山客は鳥居をくぐって登って行きました。現在の浅間山は噴火警戒レベル2で火口から2キロ以内は立ち入りが禁止され、登山は中腹の「賽の河原」までとなっているとのことです。登山者のなかには、万が一に備えてヘルメット姿の登山者も見られました。浅間山荘は、高校生の頃、浅間山に登るには、小諸から歩いて途中休憩場所として利用して、火山館で日の出の時間調整のため休憩をとり、浅間山に登った記憶が思い出されました。浅間山荘のご主人によると、3年ほど前には、山荘からの登山者は8万人程いたが昨年は2万人程に減ってしまったとのことでした。

しかし、山荘からの眺めは、八ヶ岳から蓼科山の眺望は素晴らしいとおもいました。また、ご主人の話によると、山荘の付近にはフクロウがおり、フクロウの雛の鳴き声は、ギャア･ギャアとうるさいほどだとのことでした。

今日の卓話は、日本野鳥の会の渡辺さんのお話です。興味のあるお話が聞かれると思いますので宜しくお願いします。

【幹事報告】 矢島　栄一　幹事

1. ロータリー日本事務局よりﾛｰﾀﾘｰﾚｰﾄ変更について
   5 月より1ドル＝110円(現行 116 円)に変更
2. 東信第一グループ高見澤敏光ガバナー補佐より新旧会長･幹事引継ぎ会議開催について
   日時　6 月 24 日(土)17:00～
   場所　佐久グランドホテル
3. 千曲川RCより創立 30 周年記念式典、礼状
4. 小諸市暴力追放推進協議会より 29 年度総会について
   日時　5 月 29 日(月)13:30～
   場所　小諸市役所3F　第1･2 会議室
5. 例会変更

佐久ｺｽﾓｽRC	5月22日(月))	定刻受付あり
上田RC	5月22日(月)	定刻受付あり
	5月29日(月)	定刻受付あり
	6月12日(月)	定刻受付あり
千曲川RC	5月24日(水)	定刻受付あり
	5月31日(水)	定刻受付あり

6. 週報
   佐久、東御RC

･例会終了後、現及び次期合同理事会
･来週、5 月 16 日(火)合同夜間例会の振り替え休会、17 日(水)合同夜間例会･ゴルフ　小諸グランドキャッスルホテル　18 時より

【本日の配布物】
週報 1363 号、ガバナー月信 5 月号、ロータリーの友 5 月号、クラブ協議会案内

◆出席報告　　青松　英和 委員

会員数24名　出席義務者23名　免除者1名

本　日　　出　席　19名

事前 MU　0名　82．61%

前々回(4/18)　MU　1名　86．96%

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会　青松　英和 委員

ロータリーの友 5 月号紹介

◆ラッキー賞

NO．17　　加藤　輝男 君

◆ニコBOX　　湯本　敏晴 委員

小山　盛夫君	誕生祝、有難うございます。
加藤　輝男君	初めてのラッキー賞、有難うございます。
朝倉　俊次君	食事が楽しみになる様頑張ります

小林　秋生君	山口洋一会員、入院から解放されて 5 月 15 日より職務に復帰出来るとの事。尚、例会出席は 6 月に入ってからと思います。ご連絡まで。

◆本日のプログラム　鳥の魅力、鳥を見る(バードウォッチング)魅力とは？　　野鳥の会　　渡辺　憲一 様

「百聞は一見に如かず」・・・画像をご覧下さい。

以下、鳥に関する極一般的な事項

(1)見られる時期・場所での分け方

1)夏鳥・・・春に日本に来て繁殖し、秋に南国へ(ツバメ)

2)冬鳥・・・秋に日本に来て越冬し、春に北国へ(ツグミ・カモ類の多く)

3)旅鳥・・・春と秋の渡りの時に、日本を通過(シギ類に多い)

4)留鳥・・・一年中見られる鳥(スズメ・ヒヨドリ・キジバト)

5)漂鳥・・・冬は里に下りて来て、春から夏は高山へ(ウソ・ビンズイ)

6)迷鳥・・・本来は日本にいないが、迷ってきてしまう鳥(台風など)

(2)見分け方(種の判定)

1)大きさ・・・標準鳥(身近な鳥で大きさの基準として使われる鳥)

スズメ・ヒヨドリ・キジバト・カラス(実はカラスという種はおらず、普通に見られるのは、ハシブトガラスかハシボソガラス)

2)鳴き声:地鳴き・囀り(縄張りと恋)

3)体色:赤・青・緑・黄・白・黒・茶

4)飛び方:直線型飛翔・波型飛翔・停空飛翔(ホバリング)と形

5)止まり方(止まった時の形)

6)見られる場所(環境):森林・草原・水辺(川・湖沼・海)

(3)日本での確認鳥は何種類？(2012 年日本鳥類目録(日本鳥学会発行)

1)633 種(内8種は絶滅種:トキとコウノトリは復活作戦で甦りつつあるので絶滅種外扱いとして)

2)亜種(絶滅は10種)を含めると765種

3)他に正式登録されてはいないが「検討中の種」83種

4)分類もDNA(デオキシリボ核酸)鑑定の結果色々変わってきている。

次週のプログラム:5月16日　「合同夜間例会の為休会」

:5月17日　「合同夜間例会」

次々週のプログラム　:5月23日　「サッカーアルティスタ東御の概要説明」　堀内和彦様・森川達矢様